

令和6年度 小金井市立前原小学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

- ①児童が自ら問題意識をもつことができる「課題提示の工夫」
- ②お互いの意見を尊重し合うことのできる「活発な対話」
- ③学習成果をまとめる力や外部への発信する力を伸ばす「表現力の向上」
- ④基礎学力の確実な定着

2 児童の現状分析

(1) 全国学力・学習状況調査

国語	○授業中に感じたことや考えたことを交流する場を設定し、児童の表現力や自分の考えをまとめる力を高める。
算数	○算数モジュールの時間での反復練習により基礎基本の定着を図るとともに、ペア学習や全体共有等学習形態を工夫し、解答までの思考の過程を表現できる力を高める。

(2) 児童・保護者・教職員アンケート

- 対話を効果的に取り入れた授業を展開し、主体的に問題解決に取り組み、自ら自尊感情を高められるような児童の育成を図る。

3 各教科等における授業改善の視点

国語	低学年	○ひらがな・カタカナ・漢字の学習の際に行う言葉探しや ICT（ドリルプラネット）等を活用して語彙を増やし、短文づくりや振り返りを文章で書かせる活動を通して表現力を向上させる。 ○考えたこと等をペアや班で話し合う時間を確保し、伝え合う力を付ける。
	中学年	○「言葉の宝箱」の活用や読書活動を通して語彙を増やし、日記や詩などの言語活動を通して表現力を高める。
	高学年	○情景描写や登場人物の心情変化に着目して叙述に基づいて読解する力や、重要語句に着目して読みながら要旨をまとめる力を高める。少人数での意見交流を通して考えの共通点や相違点を整理して話し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりする。
社会	中学年	○表、グラフ、写真、映像など様々な資料を扱い、読み取り方を指導することを通して、事実を正確に読み取る力を高める。 ○事実を根拠にして考えを表現したり伝え合ったりする活動を行うことで、思考・判断・表現力を高める。
	高学年	○表、グラフ、写真、映像など様々な資料を扱い、読み取った事実や根拠をノート等を書くことを通して、事実を正確に読み取る力を高める。 ○資料から読み取った事実やその根拠を表現したり伝え合ったりする活動を行うことで、思考・判断・表現力を高める。
算数	低学年	○自分の考えを具体物や図等を活用して表現したり、ペアでの話し合いの時間で考えを伝える時間をとったりすることを通して、表現力を高める指導を行う。
	中学年	○計算の答えを出すだけでなく、自分の考えを説明できるように、ペアやグループでの話し合いの時間を取り、表現力を高める指導を行う。
	高学年	○図や表、数直線などを上手に使い、自分の考えを説明する力を付けるために、

		ペアやグループの話し合いの時間をとり、表現力を高める指導を行う。
理 科	中学年	○問題から自分の言葉で予想や仮説を立て、お互いに意見を交流することで視野を広げたり、自分の意見を修正したりすることができるようにする。
	高学年	○実験結果を予想や仮説と比較し、自分の言葉で考察をまとめる力を伸ばす。
生 活	低学年	○探求したいことを引き出し、観察や日常的に使う施設などの探検、地域の人との関わりを通して、主体的に取り組む態度を育てる。
音 楽	低学年	○遊びながら歌う活動、リズムの模倣や言葉を唱える音遊びの活動を取り入れることで、歌うことや音楽をつくる楽しさを味わうことができるようにする。
	中学年	○生の音や演奏にふれ、音楽のよさを体感する。ICT 端末を活用し、個々の理解や学びの深まりを促すとともに、個々の気付きや感受性の違いを学びに生かす。
	高学年	○鑑賞や音楽づくり等の学習を中心に、個々の ICT 端末を活用し、相互の考えや表現(音楽や言語)のよさを学び合い、活動を深め広げる。
図画 工作	低学年	○用具や素材の扱いについて、基本的な技能を十分に身に付けられるよう、基礎的な作業を繰り返し行っていく。
	中学年	○作品について児童がイメージを言語化することで、自分の作品を客観的に見たり、思いを深めたりできるようにする。
	高学年	○作品の意図や鑑賞感想などについて、記入し見合うことで言語能力を高め、自分の作品を客観的に見たり、思いを深めたりできるようにする。
家 庭	高学年	○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践的・体験的な活動を通して考えたことを表現したり交流したりすることで、課題を解決する力を養う。
体 育	低学年	○お互いの動きをペアやグループで見合い、動きのよさや改善点を友達にアドバイスし、自分の動きに取り入れて課題を見つけて課題解決できるようにする。
	中学年	○手本となる動きを見たり、互いの動きを見合ったりして、自分や友達の動きのよさや課題に気付き、課題解決しようとする。
	高学年	○手本となる動画と自分や仲間の試技を録画したものを見比べ、能力に適した課題解決の仕方や工夫ができるように、仲間と共に思考を働かせながら伝え合う力を身に付ける。
外国語	中学年	○楽しみながら友達同士で伝え合う場面を多く設定し、外国語でコミュニケーションを取ろうとする意欲を高める。
	高学年	○語順を意識させながら音声教材を十分に聞かせた後に、書く活動を取り入れることで、簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
道 徳	低学年	○自分の考えをもち、対話（教師、友達）をし、考えを比較しながら、道徳価値を理解していく。
	中学年	○対話の仕方（教師、友達、教科書、自己）を工夫して、道徳的価値について理解を深める。
	高学年	○自分の考えを基に議論できるよう、ペアや少人数グループでの共有をして、様々な考えに触れることで道徳的価値を深めていく。
総 合	中学年	○地域との連携を深め、身近な地域課題を取り扱うことで、主体的に探究活動に取り組む態度を養う。
	高学年	○日常生活や地域から問題を見いだして課題を設定し、主体的に探究活動や問題解決に取り組む態度を養う。

